

第1部 人口動態 (平成29年中)

1 人口の概況

(1) 人口の動き

・人口増加数は1,988人（社会増加数6,061人、自然増加数マイナス4,073人）

平成29年中の人口増加数は1,988人となっています。これを社会増加数と自然増加数とに分けてみると、社会増加数が6,061人（転入 140,759人、転出 134,518人、その他増減 180人減）、自然増加数がマイナス4,073人（出生 28,611人、死亡 32,684人）となっています。昨年、マイナスに転じた自然増加数は、引き続きマイナスとなっています。また、平成28年中と比べ、社会増加数は2,424人の減少、自然増加数は1,989人の減少となっています。

平成以降の人口増加数の動きをみると、平成7年に7,049人と大きく減少した後、8年以降は増加に転じ、13年は36,405人となりました。その後、平成19年を除き年々減少し、23年は2,218人まで減少しました。平成24年に増加に転じた後は26年まで増加したものの、27年に再び減少に転じ、29年は1,988人と人口の増加幅が最も小さくなっています。

また、人口動態を男女別にみると、平成29年中の女性の人口増加数は3,255人となり、男性を上回っています。一方、男性の人口増加数はマイナス1,267人で、社会増加数はプラスとなったものの、自然増加数はマイナス3,093人と減少が続いています。

[図1-1、図1-2、表1-1、統計表第3表～第5表]

図1-1 人口の増加の推移 (昭和22年中～平成29年中)

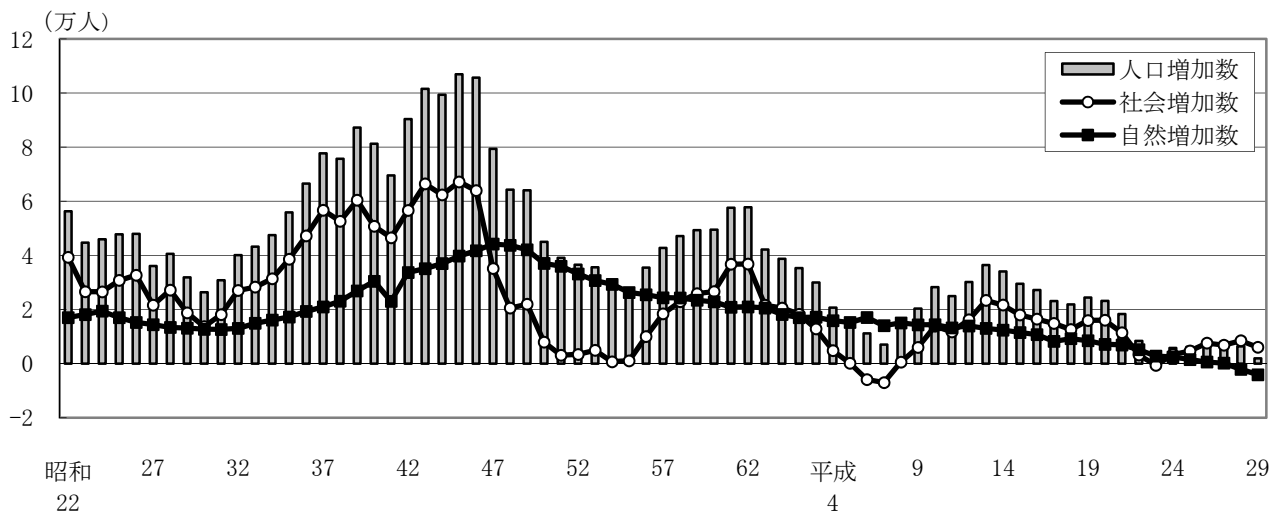


図1-2 男女別人口動態 (平成19年中～平成29年中)

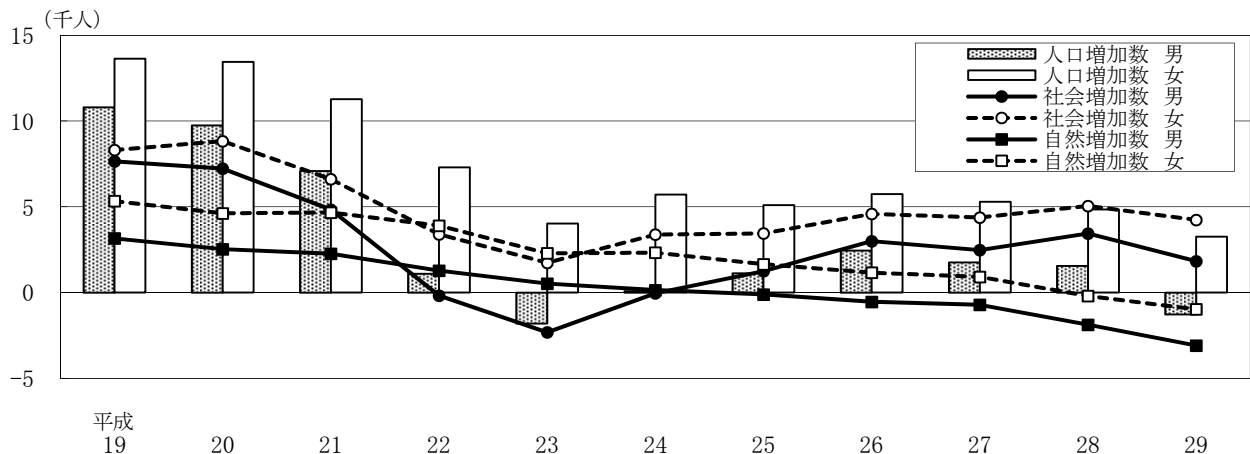


表 1-1 人口動態の推移 (昭和 22 年中～平成 29 年中)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	そ の 他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
昭和22	56,312	7.30	39,281	97,015	57,734	-	17,031	27,529	10,498
23	44,697	5.40	26,561	117,218	90,657	-	18,136	26,058	7,922
24	45,951	5.24	26,534	107,732	81,519	321	19,417	27,116	7,699
25	47,758	5.18	30,778	106,592	75,634	△ 180	16,980	24,063	7,083
26	47,938	4.97	32,685	110,147	78,469	1,007	15,253	22,008	6,755
27	36,057	3.56	21,643	94,168	72,688	163	14,414	20,400	5,986
28	40,559	3.87	27,180	93,917	66,429	△ 308	13,379	19,922	6,543
29	31,903	2.93	18,784	91,007	72,705	482	13,119	19,537	6,418
30	26,383	2.35	13,677	82,876	68,915	△ 284	12,706	19,118	6,412
31	30,783	2.67	18,142	80,937	61,617	△ 1,178	12,641	18,717	6,076
32	40,067	3.39	27,042	89,229	61,632	△ 555	13,025	19,736	6,711
33	43,218	3.54	28,282	92,278	63,712	△ 284	14,936	21,303	6,367
34	47,480	3.75	31,386	96,726	64,955	△ 385	16,094	22,220	6,126
35	55,882	4.26	38,610	104,337	64,993	△ 734	17,272	23,272	6,000
36	66,524	4.79	47,218	117,551	69,516	△ 817	19,306	24,710	5,404
37	77,675	5.34	56,702	137,482	80,222	△ 558	20,973	26,647	5,674
38	75,704	4.94	52,624	142,348	89,469	△ 255	23,080	28,617	5,537
39	87,243	5.43	60,386	163,566	102,111	△ 1,069	26,857	32,374	5,517
40	81,221	4.79	50,777	163,100	112,605	282	30,444	37,213	6,769
41	69,546	3.85	46,534	163,137	117,746	1,143	23,012	29,197	6,185
42	90,353	4.82	56,649	176,017	120,813	1,445	33,704	40,433	6,729
43	101,545	5.16	66,421	198,484	133,246	1,183	35,124	42,433	7,309
44	99,352	4.80	62,372	206,825	145,981	1,528	36,980	44,114	7,134
45	106,907	4.93	67,152	223,393	157,019	778	39,755	47,622	7,867
46	105,690	4.67	63,941	228,455	164,481	△ 33	41,749	50,490	8,741
47	79,354	3.35	35,178	206,752	172,834	1,260	44,176	53,562	9,386
48	64,276	2.63	20,531	202,635	183,235	1,131	43,745	53,504	9,759
49	64,035	2.55	21,963	194,347	173,581	1,197	42,072	52,394	10,322
50	44,988	1.75	7,943	174,150	168,068	1,861	37,045	47,353	10,308
51	39,094	1.49	3,091	163,519	162,907	2,479	36,003	46,322	10,319
52	36,569	1.37	3,418	164,186	162,386	1,618	33,151	43,758	10,607
53	35,625	1.32	4,930	162,893	159,161	1,198	30,695	41,625	10,930
54	30,035	1.10	712	164,686	162,397	△ 1,577	29,323	40,306	10,983
55	27,337	0.99	1,043	157,616	156,070	△ 503	26,294	37,977	11,683
56	35,502	1.28	10,032	158,942	149,921	1,011	25,470	37,493	12,023
57	42,756	1.52	18,417	162,855	145,411	973	24,339	36,381	12,042
58	47,155	1.65	22,891	162,049	139,659	501	24,264	37,179	12,915
59	49,315	1.70	25,882	163,354	138,057	585	23,433	36,466	13,033
60	49,471	1.67	26,633	165,318	138,923	238	22,838	36,063	13,225
61	57,605	1.92	36,740	175,943	139,712	509	20,865	34,461	13,596
62	57,776	1.89	36,805	181,661	145,034	178	20,971	34,773	13,802
63	42,157	1.35	21,590	174,968	153,560	182	20,567	35,321	14,754
平成元	38,737	1.23	20,559	177,756	157,841	644	18,178	32,774	14,596
2	35,294	1.10	18,276	181,160	162,949	65	17,018	32,746	15,728
3	30,013	0.93	12,852	175,427	165,019	2,444	17,161	33,651	16,490
4	20,703	0.64	4,820	174,042	169,942	720	15,883	32,896	17,013
5	15,365	0.47	138	170,920	171,532	750	15,227	32,692	17,465
6	11,208	0.34	△ 5,852	167,606	173,949	491	17,060	34,617	17,557
7	7,049	0.21	△ 6,987	161,795	169,462	680	14,036	32,899	18,863
8	15,650	0.47	570	161,504	161,622	688	15,080	33,567	18,487
9	20,373	0.61	6,023	163,280	157,828	571	14,350	33,273	18,923
10	28,262	0.84	13,870	165,655	152,481	696	14,392	34,547	20,155
11	24,979	0.74	11,747	164,918	153,616	445	13,232	33,676	20,444
12	30,161	0.89	16,229	166,939	150,866	156	13,932	34,295	20,363
13	36,405	1.06	23,376	171,197	148,076	255	13,029	33,722	20,693

表 1-1 人口動態の推移 (昭和 22 年中～平成 29 年中) (続)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	その他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
平成14	34,074	0.98	21,668	168,252	147,176	592	12,406	33,699	21,293
15	29,509	0.84	17,986	167,648	150,193	531	11,523	33,271	21,748
16	27,176	0.77	16,449	163,112	147,542	879	10,727	33,238	22,511
17	23,119	0.65	14,875	160,213	146,020	682	8,244	31,722	23,478
18	21,874	0.61	12,628	158,738	146,852	742	9,246	33,023	23,777
19	24,439	0.68	15,951	161,065	145,772	658	8,488	33,122	24,634
20	23,191	0.64	16,049	158,311	143,248	986	7,142	32,694	25,552
21	18,362	0.50	11,440	153,945	143,369	864	6,922	32,816	25,894
22	8,389	0.23	3,215	145,701	143,460	974	5,174	32,747	27,573
23	2,218	0.06	△ 590	139,112	139,905	203	2,808	31,296	28,488
24	5,795	0.16	3,335	141,289	137,784	△ 170	2,460	31,623	29,163
25	6,223	0.17	4,688	140,356	132,953	△ 2,715	1,535	30,753	29,218
26	8,192	0.22	7,579	138,809	129,947	△ 1,283	613	30,780	30,167
27	7,047	0.19	6,852	144,035	135,954	△ 1,229	195	30,928	30,733
28	6,401	0.17	8,485	140,829	132,234	△ 110	△ 2,084	29,749	31,833
29	1,988	0.05	6,061	140,759	134,518	△ 180	△ 4,073	28,611	32,684

注 1) 人口増加数、社会動態、自然動態については各年1月1日～12月31日までの集計数値である。

注 2) 人口増加率については、各年1月1日現在の人口に対する増加数の割合である。

注 3) 平成24年中、25年中、26年中の社会動態の内訳について、国外から転入した外国人の人数を「その他増減」から「転入」に移行して修正している。

注 4) 本表では、「市内移動の増減」を「その他増減」に含めている。

(2) 行政区別の状況

・人口増加数が多い港北区、増加率が高い西区

人口の動きを行政区別にみると、平成29年中は9区で増加、9区で減少しています。

増加数では、港北区が1,815人の増加と最も多く、次いで鶴見区(1,515人)、西区(1,402人)、神奈川区(1,382人)の順となっています。

また、増加率では、西区が1.42%と最も高く、次いで神奈川区(0.58%)、鶴見区(0.53%)、港北区(0.52%)の順となっています。

減少数では、都筑区が874人の減少と最も多く、次いで金沢区(817人)、旭区(761人)の順となっています。

また、減少率では、瀬谷区が0.52%と最も高く、次いで泉区(0.46%)、都筑区(0.41%)、金沢区(0.41%)の順となっています。

[図1-3、図1-4、表1-2、統計表第5表]

図1-3 行政区別人口増加率

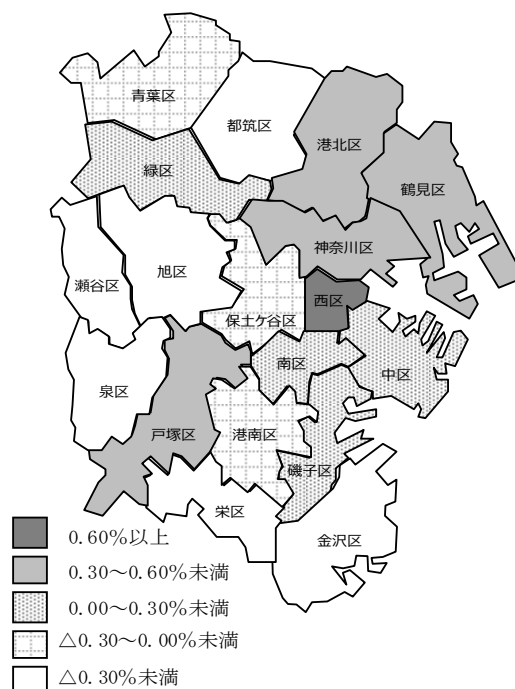


図1-4 行政区別人口動態 (平成29年中)

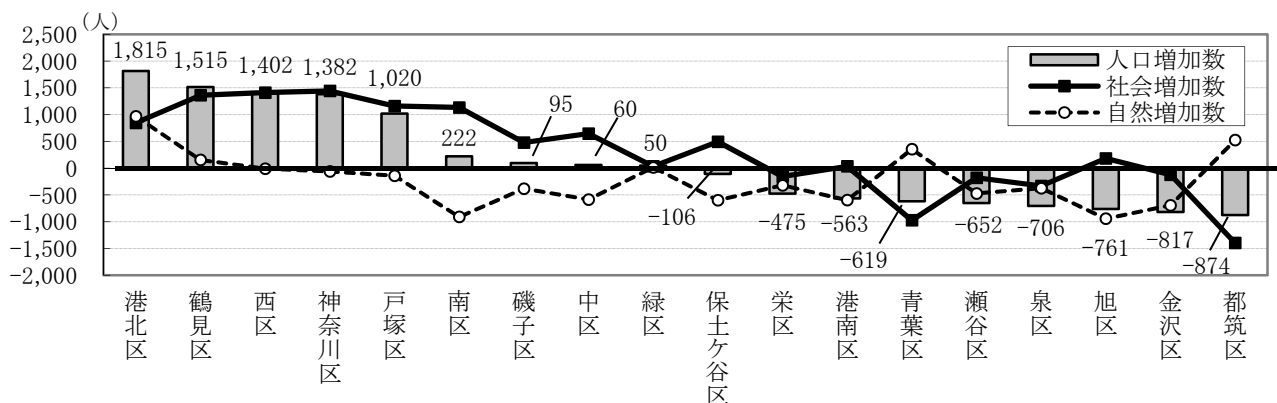


表1-2 行政区別人口及び人口増減 (平成29年中)

行政区	人口(1月1日現在)		人口増減				順位
	平成29年	平成30年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率(%)	
横浜市	3,731,096	3,733,084	1,988	6,061	△4,073	0.05	-
鶴見区	287,451	288,966	1,515	1,361	154	0.53	3
神奈川区	240,224	241,606	1,382	1,443	△61	0.58	2
西区	98,646	100,048	1,402	1,411	△9	1.42	1
中区	149,095	149,155	60	646	△586	0.04	8
南港南区	194,752	194,974	222	1,133	△911	0.11	6
港南区	214,519	213,956	△563	34	△597	△0.26	12
保土ヶ谷区	206,621	206,515	△106	493	△599	△0.05	10
旭区	246,517	245,756	△761	182	△943	△0.31	13
磯子区	166,420	166,515	95	478	△383	0.06	7
金沢区	200,850	200,033	△817	△123	△694	△0.41	15
港北区	346,922	348,737	1,815	846	969	0.52	4
緑区	181,165	181,215	50	35	15	0.03	9
青葉区	310,499	309,880	△619	△973	354	△0.20	11
都筑区	212,170	211,296	△874	△1,398	524	△0.41	16
戸塚区	275,996	277,016	1,020	1,160	△140	0.37	5
栄区	121,362	120,887	△475	△155	△320	△0.39	14
泉区	153,690	152,984	△706	△332	△374	△0.46	17
瀬谷区	124,197	123,545	△652	△180	△472	△0.53	18

(3) 世帯の動き

・世帯規模は縮小し単身世帯化が進む

平成30年1月1日現在における世帯数は1,674,601世帯で、前年に比べ13,599世帯（0.82%）増加しています。平成29年中の世帯数の動きをみると、転入や世帯分離による増加が147,147世帯、転出や世帯合併による減少が133,548世帯となっています。

また、1世帯当たり人員は2.23人で、前年の2.25人より世帯の規模は縮小しています。

世帯人員別の世帯数の割合は10年前と比較して、1人世帯と2人世帯が増加し、3人以上の世帯が減少しており、単身世帯化や世帯規模の縮小化が進んでいます。

[図1-5、図1-6、表1-3、統計表第1表]

図1-5 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（昭和22年～平成30年）

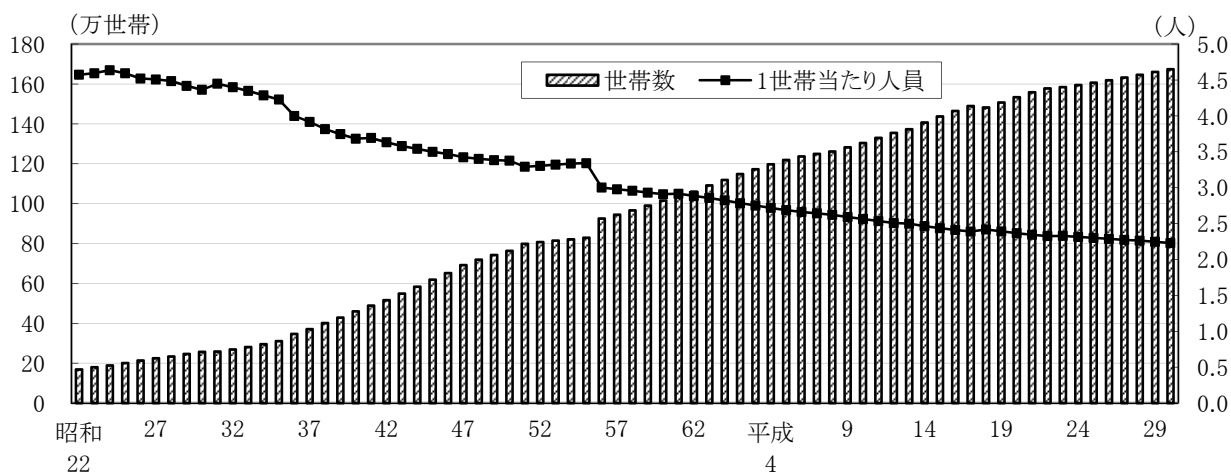
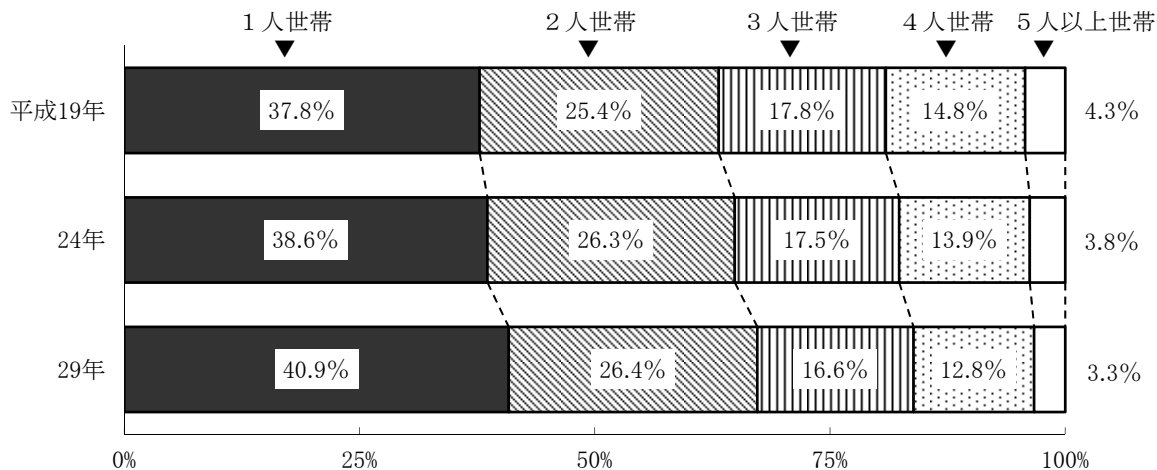


図1-6 世帯人員別世帯数の割合（平成19年、24年、29年）



注) 数値は各年9月30日現在の住民基本台帳人口を集計したものである。

・世帯数の増加数が多い鶴見区、増加率が高い西区

世帯数の動きを行政区別にみると、平成29年中は全ての区で増加しています。

増加数では鶴見区が1,558世帯と最も多く、次いで神奈川区（1,469世帯）、港北区（1,385世帯）、戸塚区（1,356世帯）の順になっています。

また、増加率をみると、西区（1.96%）が最も高く、次いで南区（1.23%）、神奈川区（1.21%）、戸塚区（1.18%）、鶴見区（1.16%）の順になっています。

[図1-7、表1-3、統計表第19表]

図1-7 行政区別世帯数増加率

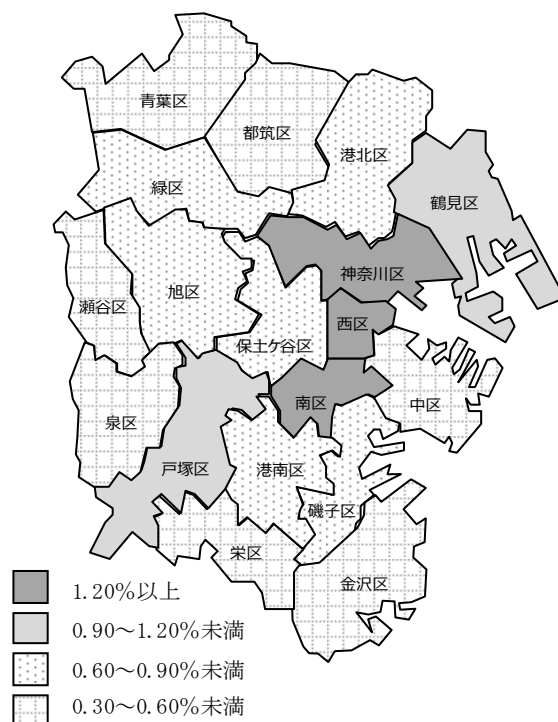


表1-3 行政区別世帯数及び世帯数の増減（平成29年中）

行政区	世帯数（1月1日現在）		平成29年中				
	平成29年	平成30年	転入等による増加	転出等による減少	増加数	増加率(%)	増加率順位
横浜市	1,661,002	1,674,601	147,147	133,548	13,599	0.82	-
鶴見区	134,532	136,090	14,027	12,469	1,558	1.16	5
神奈川区	120,957	122,426	12,988	11,519	1,469	1.21	3
西区	52,039	53,060	7,276	6,255	1,021	1.96	1
南区	79,506	79,929	9,911	9,488	423	0.53	13
港南区	96,335	97,519	10,345	9,161	1,184	1.23	2
保土ヶ谷区	94,013	94,817	8,379	7,575	804	0.86	6
旭区	103,547	104,247	6,806	6,106	700	0.68	10
磯子区	75,229	75,869	6,034	5,464	570	0.76	8
金沢区	87,159	87,632	5,979	5,506	473	0.54	12
港北区	164,981	166,366	16,888	15,503	1,385	0.84	7
緑区	75,592	76,130	6,077	5,539	538	0.71	9
青葉区	126,484	127,123	10,421	9,782	639	0.51	14
都筑区	81,361	81,678	6,336	6,019	317	0.39	16
戸塚区	114,614	115,970	8,710	7,354	1,356	1.18	4
栄区	50,971	51,122	3,496	3,345	151	0.30	18
泉区	61,240	61,448	3,872	3,664	208	0.34	17
瀬谷区	50,774	51,016	3,367	3,125	242	0.48	15

2 社会動態

(1) 社会移動の状況

・転入超過数は6,241人

平成29年中の社会移動数は344,970人で、28年中に比べ2,290人の増加となっています。

市外からの転入は140,759人（前年比70人減）、市外への転出は134,518人（同2,284人増）で、差引6,241人（同2,354人減）の転入超過となっています。

移動率（各年の1月1日現在人口に対する割合）をみると、転入率は3.77%、転出率は3.61%、市内移動率1.87%で、全体の移動率は9.25%になっています。

市外転入をみると、昭和30年代後半から急激に増加し、44年に20万人を超え、46年に最大の228,455人となりました。そして、昭和46年をピークに減少し、55年、56年に15万人台となり、その後、小さく増加と減少を繰り返し、ほぼ同じ水準で推移していましたが、平成22年からは15万人を割り、14万人前後で推移しています。また、転入超過数は、昭和45年に最大の66,374人となりました。

市外転出は、昭和48年の183,235人をピークに減少傾向となりましたが、60年から再び増加に転じ、平成5年から8年にかけては転入を上回り、昭和22年以来初めて転出超過となりました。その後は緩やかな減少傾向にあり、平成23年には再び転出超過となりましたが、24年に転入超過に転じてからは、転入超過が続いています。

〔図1-8、表1-4、統計表第3表〕

図1-8 社会動態における転入・転出・市内移動の推移（昭和22年中～平成29年中）

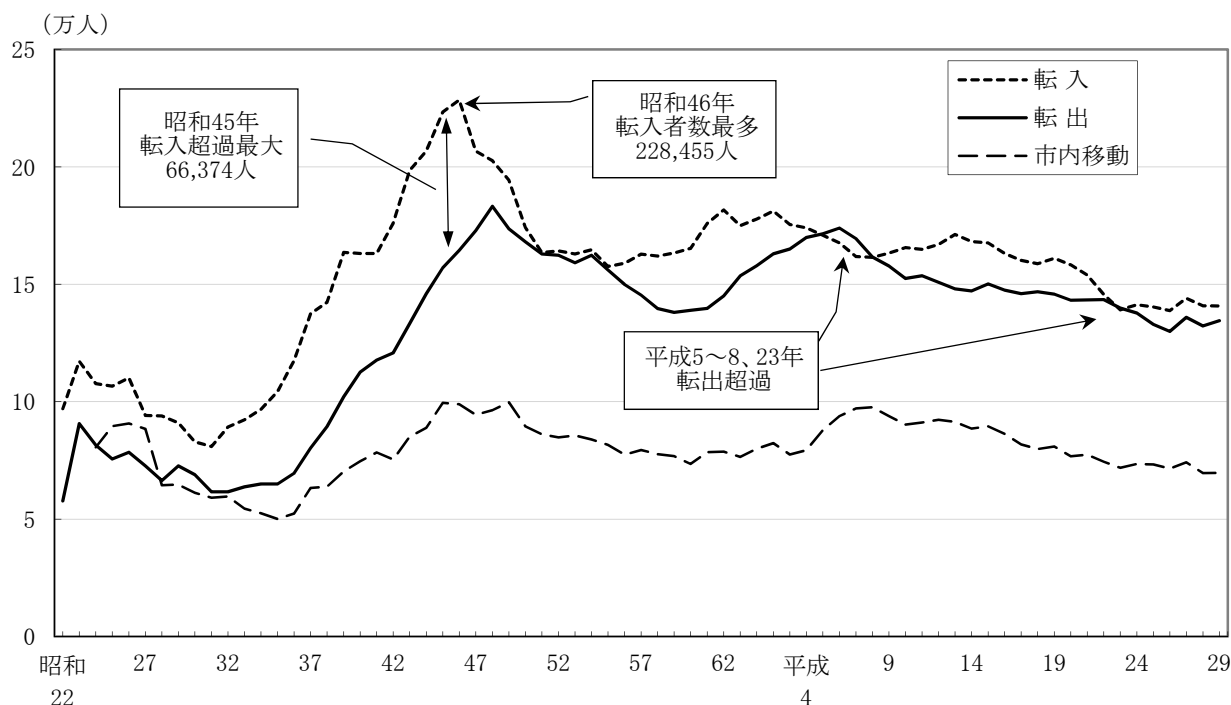


表1-4 社会移動の推移 (昭和22年中～平成29年中)

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
昭和22	154,749	97,015	57,734	39,281	-	20.06	12.58	7.49	5.09	...
23	207,875	117,218	90,657	26,561	-	25.12	14.16	10.95	3.21	...
24	269,824	107,732	81,519	26,213	80,573	30.79	12.30	9.30	2.99	9.20
25	271,813	106,592	75,634	30,958	89,587	29.48	11.56	8.20	3.36	9.72
26	279,343	110,147	78,469	31,678	90,727	28.94	11.41	8.13	3.28	9.40
27	255,269	94,168	72,688	21,480	88,413	25.20	9.30	7.17	2.12	8.73
28	224,745	93,917	66,429	27,488	64,399	21.42	8.95	6.33	2.62	6.14
29	228,379	91,007	72,705	18,302	64,667	20.96	8.35	6.67	1.68	5.93
30	213,007	82,876	68,915	13,961	61,216	18.99	7.39	6.14	1.24	5.46
31	201,676	80,937	61,617	19,320	59,122	17.52	7.03	5.35	1.68	5.14
32	210,490	89,229	61,632	27,597	59,629	17.81	7.55	5.21	2.33	5.04
33	210,450	92,278	63,712	28,566	54,460	17.22	7.55	5.21	2.34	4.46
34	214,194	96,726	64,955	31,771	52,513	16.93	7.64	5.13	2.51	4.15
35	219,353	104,337	64,993	39,344	50,023	16.71	7.95	4.95	3.00	3.81
36	239,402	117,551	69,516	48,035	52,335	17.25	8.47	5.01	3.46	3.77
37	281,003	137,482	80,222	57,260	63,299	19.32	9.45	5.52	3.94	4.35
38	295,605	142,348	89,469	52,879	63,788	19.29	9.29	5.84	3.45	4.16
39	335,933	163,566	102,111	61,455	70,256	20.89	10.17	6.35	3.82	4.37
40	350,353	163,100	112,605	50,495	74,648	20.67	9.62	6.64	2.98	4.40
41	359,276	163,137	117,746	45,391	78,393	19.89	9.03	6.52	2.51	4.34
42	372,241	176,017	120,813	55,204	75,411	19.84	9.38	6.44	2.94	4.02
43	416,800	198,484	133,246	65,238	85,070	21.20	10.09	6.78	3.32	4.33
44	441,717	206,825	145,981	60,844	88,911	21.36	10.00	7.06	2.94	4.30
45	479,943	223,393	157,019	66,374	99,531	22.14	10.31	7.24	3.06	4.59
46	491,843	228,455	164,481	63,974	98,907	21.74	10.10	7.27	2.83	4.37
47	473,968	206,752	172,834	33,918	94,382	20.01	8.73	7.30	1.43	3.99
48	482,268	202,635	183,235	19,400	96,398	19.70	8.28	7.48	0.79	3.94
49	467,680	194,347	173,581	20,766	99,752	18.61	7.73	6.91	0.83	3.97
50	431,695	174,150	168,068	6,082	89,477	16.75	6.76	6.52	0.24	3.47
51	412,543	163,519	162,907	612	86,117	15.69	6.22	6.20	0.02	3.27
52	411,369	164,186	162,386	1,800	84,797	15.41	6.15	6.08	0.07	3.18
53	407,700	162,893	159,161	3,732	85,646	15.07	6.02	5.88	0.14	3.17
54	410,976	164,686	162,397	2,289	83,893	14.99	6.01	5.92	0.08	3.06
55	395,284	157,616	156,070	1,546	81,598	14.27	5.69	5.63	0.06	2.94
56	386,286	158,942	149,921	9,021	77,423	13.90	5.72	5.39	0.32	2.79
57	387,663	162,855	145,411	17,444	79,397	13.77	5.79	5.17	0.62	2.82
58	379,342	162,049	139,659	22,390	77,634	13.28	5.67	4.89	0.78	2.72
59	378,216	163,354	138,057	25,297	76,805	13.02	5.62	4.75	0.87	2.64
60	377,760	165,318	138,923	26,395	73,519	12.79	5.60	4.70	0.89	2.49
61	394,164	175,943	139,712	36,231	78,509	13.13	5.86	4.65	1.21	2.61
62	405,426	181,661	145,034	36,627	78,731	13.25	5.94	4.74	1.20	2.57
63	405,032	174,968	153,560	21,408	76,504	12.99	5.61	4.92	0.69	2.45
平成元	415,537	177,756	157,841	19,915	79,940	13.15	5.62	4.99	0.63	2.53
2	426,470	181,160	162,949	18,211	82,361	13.33	5.66	5.09	0.57	2.57
3	417,946	175,427	165,019	10,408	77,500	12.96	5.44	5.12	0.32	2.40
4	423,305	174,042	169,942	4,100	79,321	13.00	5.35	5.22	0.13	2.44
5	430,353	170,920	171,532	△ 612	87,901	13.13	5.22	5.24	△ 0.02	2.68
6	435,396	167,606	173,949	△ 6,343	93,841	13.23	5.09	5.28	△ 0.19	2.85
7	428,411	161,795	169,462	△ 7,667	97,154	12.97	4.90	5.13	△ 0.23	2.94
8	420,775	161,504	161,622	△ 118	97,649	12.72	4.88	4.88	△ 0.00	2.95

表1-4 社会移動の推移（昭和22年中～平成29年中）（続）

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
平成9	414,952	163,280	157,828	5,452	93,844	12.48	4.91	4.75	0.16	2.82
10	408,378	165,655	152,481	13,174	90,242	12.21	4.95	4.56	0.39	2.70
11	409,710	164,918	153,616	11,302	91,176	12.15	4.89	4.55	0.34	2.70
12	410,125	166,939	150,866	16,073	92,320	12.07	4.91	4.44	0.47	2.72
13	410,694	171,197	148,076	23,121	91,421	11.96	4.99	4.31	0.67	2.66
14	403,992	168,252	147,176	21,076	88,564	11.65	4.85	4.24	0.61	2.55
15	407,330	167,648	150,193	17,455	89,489	11.63	4.79	4.29	0.50	2.55
16	396,962	163,112	147,542	15,570	86,308	11.24	4.62	4.18	0.44	2.44
17	388,030	160,213	146,020	14,193	81,797	10.90	4.50	4.10	0.40	2.30
18	385,426	158,738	146,852	11,886	79,836	10.75	4.43	4.10	0.33	2.23
19	387,783	161,065	145,772	15,293	80,946	10.75	4.47	4.04	0.42	2.24
20	378,353	158,311	143,248	15,063	76,794	10.42	4.36	3.94	0.41	2.11
21	374,733	153,945	143,369	10,576	77,419	10.25	4.21	3.92	0.29	2.12
22	363,577	145,701	143,460	2,241	74,416	9.90	3.97	3.91	0.06	2.03
23	350,867	139,112	139,905	△ 793	71,850	9.51	3.77	3.79	△ 0.02	1.95
24	352,552	141,289	137,784	3,505	73,479	9.55	3.83	3.73	0.09	1.99
25	346,578	140,356	132,953	7,403	73,269	9.37	3.80	3.60	0.20	1.98
26	340,292	138,809	129,947	8,862	71,536	9.19	3.75	3.51	0.24	1.93
27	354,131	144,035	135,954	8,081	74,142	9.54	3.88	3.66	0.22	2.00
28	342,680	140,829	132,234	8,595	69,617	9.20	3.78	3.55	0.23	1.87
29	344,970	140,759	134,518	6,241	69,693	9.25	3.77	3.61	0.17	1.87

注1) 市内移動は転入の人数である。また、移動率の算出に用いた人口は各年1月1日現在人口である。

注2) 平成24年中、25年中、26年中の社会移動数の内訳について、国外から転入した外国人の人数を「市外移動の転入」に移行して修正している。

(2) 市外移動

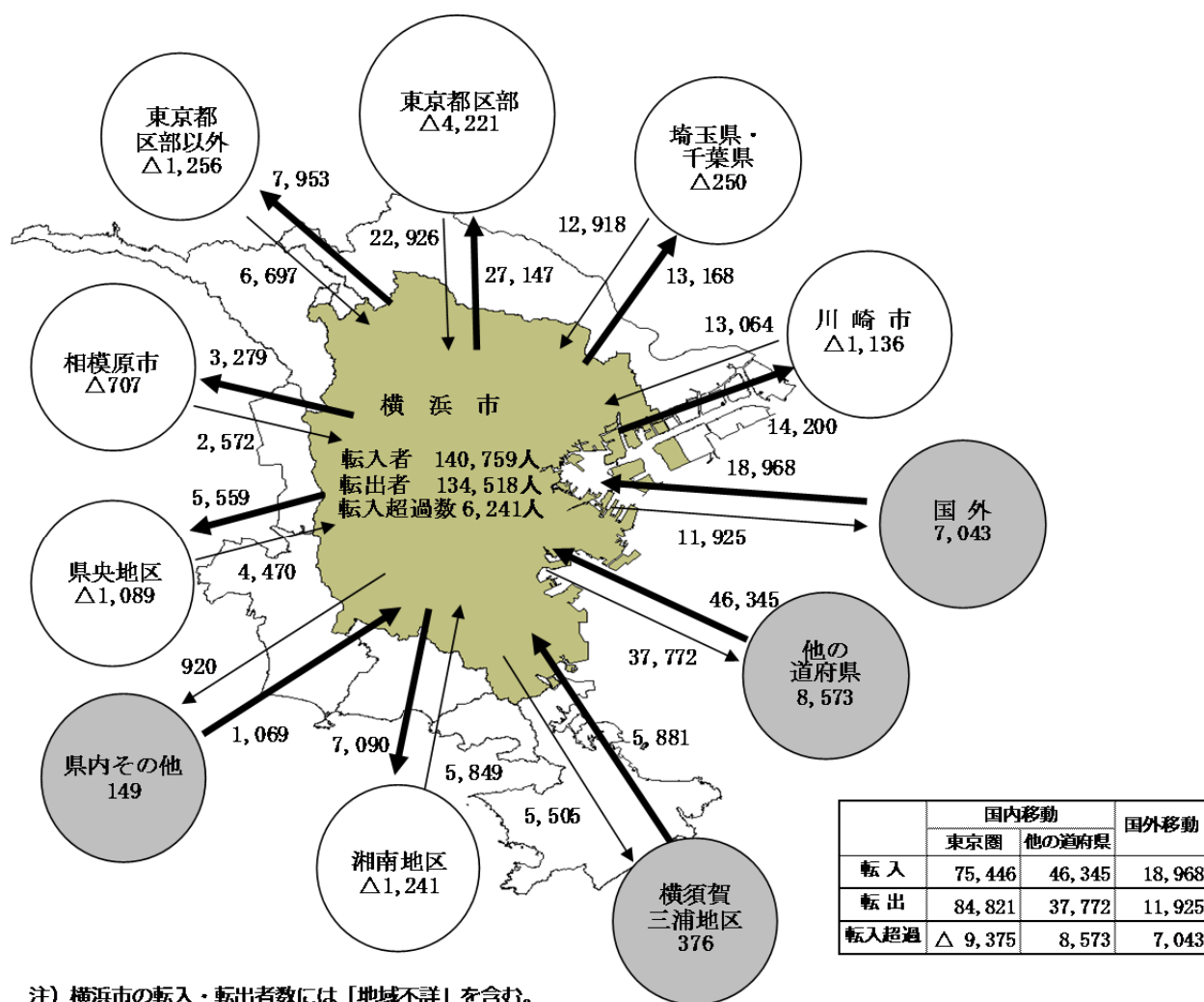
・東京都区部への転出超過が目立つ

市外移動を移動前・移動後の住所地別にみると、都道府県別では転入・転出とも神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県の順で、これら東京圏内だけで転入者の53.6%（75,446人）、転出者の63.1%（84,821人）を占めています。

横浜市の転入超過数（6,241人）を地域別にみると、東京圏内では、横須賀三浦地区（376人）、県内その他（149人）が転入超過となっていますが、それ以外の地域では、東京都区部（転入超過数マイナス4,221人）をはじめ、東京都区部以外（同マイナス1,256人）、湘南地区（同マイナス1,241人）、川崎市（同マイナス1,136人）など、転出超過となっています。この結果、東京圏内全体では9,375人の転出超過は増加しています。一方、東京圏以外の道府県は8,573人の転入超過、国外は7,043人の転入超過となっています。

[図1-9、図1-10、表1-5、統計表第14表、第15表]

図1-9 地域別にみた転入・転出者数（平成29年中）



注) 横浜市の転入・転出者数には「地域不詳」を含む。

東京都と神奈川県の細区分

- 東京都区部 : 23 特別区
- 東京都区部以外 : 23 特別区を除く都内の市町村
- 川崎市 : 川崎市（川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区）
- 相模原市 : 相模原市（緑区、中央区、南区）
- 横須賀三浦地区 : 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡（葉山町）
- 県央地区 : 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛甲郡（愛川町、清川村）
- 湘南地区 : 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、高座郡（寒川町）中郡（大磯町、二宮町）
- 県内その他 : 小田原市、南足柄市、足柄上郡（中井町、大井町、松田町、山北町、開成町）、足柄下郡（箱根町、真鶴町、湯河原町）

図 1-10 東京圏内各地域の転入・転出超過数の推移（平成25年中～29年中）

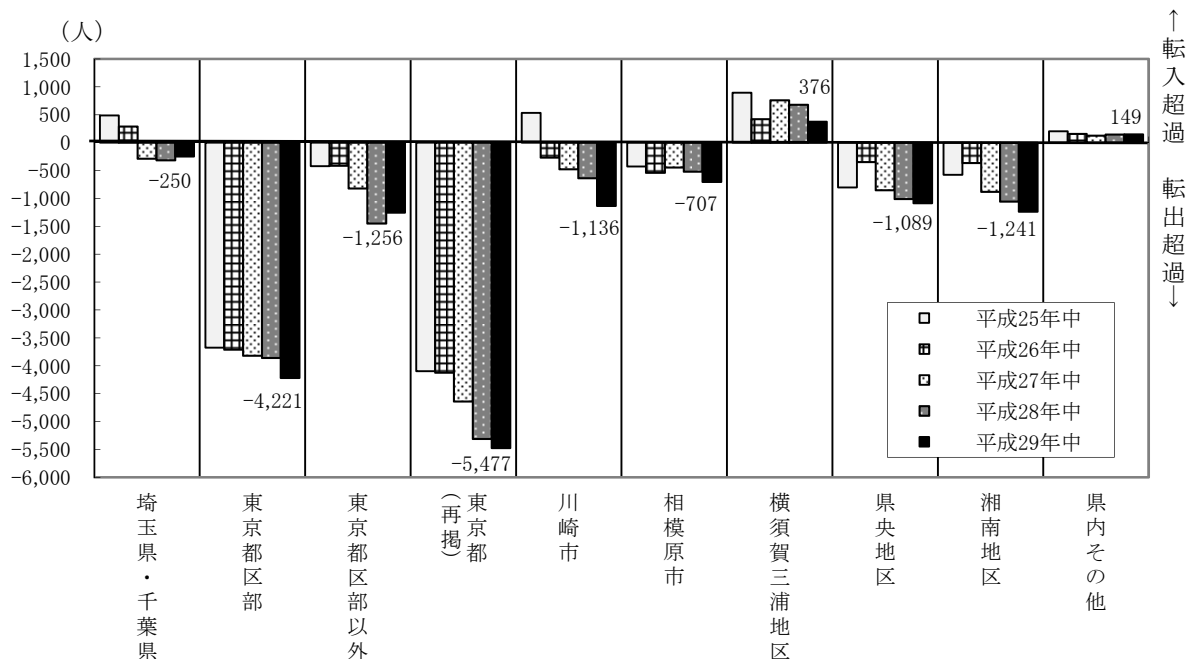


表 1-5 移動前・移動後の住所地別転入・転出者数の順位（平成29年中）

都道府県		【転入】		【転入超過】		県内・東京都区部		【転入】		【転入超過】	
1	神奈川県	32,905		1	兵庫県	612		1	川崎市	13,064	
2	東京都	29,623		2	静岡県	601		2	大田区	4,261	
3	千葉県	6,733		3	愛知県	468		3	横須賀市	3,486	
4	埼玉県	6,185		4	大阪府	398		4	世田谷区	2,842	
5	大阪府	4,105		5	新潟県	381		5	藤沢市	2,709	
6	愛知県	3,826		6	宮城県	359		6	相模原市	2,572	
7	静岡県	3,590		7	福岡県	339		7	大和市	1,893	
8	北海道	2,726		8	青森県	327		8	品川区	1,619	
9	兵庫県	2,615		9	福島県	319		9	鎌倉市	1,413	
10	福岡県	2,612		10	北海道	309		10	目黒区	1,295	
(再掲) 東京圏		75,446									
都道府県		【転出】		【転出超過】		県内・東京都区部		【転出】		【転出超過】	
1	神奈川県	36,553		1	東京都	5,477		1	川崎市	14,200	
2	東京都	35,100		2	神奈川県	3,648		2	大田区	4,050	
3	千葉県	7,039		3	千葉県	306		3	藤沢市	3,454	
4	埼玉県	6,129						4	世田谷区	3,351	
5	大阪府	3,707						5	相模原市	3,279	
6	愛知県	3,358						6	横須賀市	2,899	
7	静岡県	2,989						7	大和市	2,674	
8	北海道	2,417						8	品川区	2,143	
9	福岡県	2,273						9	鎌倉市	1,669	
10	兵庫県	2,003						10	目黒区	1,508	
(再掲) 東京圏		84,821									

注) 神奈川県には、横浜市内の移動は含まない。

図1-12 区間移動の転入超過数（平成29年中）

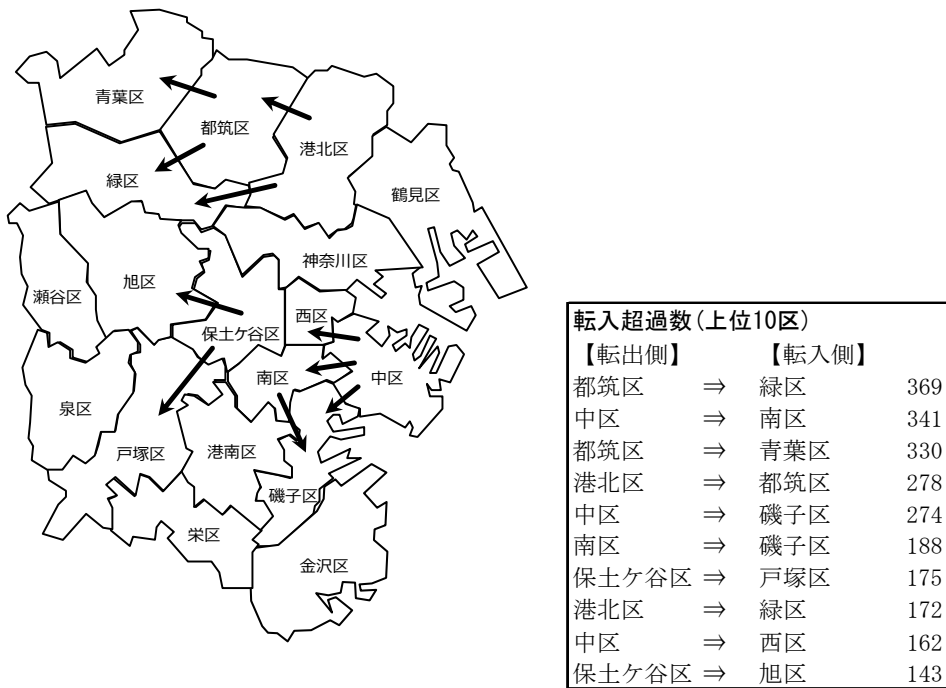


表1-6

移動後の住所地											移動前の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区		総数
4,276	2,350	5,414	3,613	3,042	3,317	4,875	2,069	2,711	2,173		
203	138	683	181	142	148	244	66	82	81		鶴見区
240	137	1,107	365	132	271	322	87	104	124		神奈川区
193	78	223	50	56	84	159	46	52	55		西区
684	187	257	100	92	99	174	116	80	72		中区
687	242	239	62	70	101	360	132	169	76		南区
632	257	176	60	58	95	548	396	157	69		港南区
142	94	276	143	88	90	555	103	193	176		保土ヶ谷区
105	74	196	317	153	112	240	56	340	660		旭区
-	549	152	48	47	33	229	219	84	40		磯子区
583	-	158	53	52	52	151	165	57	47		金沢区
179	146	-	526	369	1,010	242	104	115	96		港北区
45	35	354	-	671	427	54	37	67	97		緑区
65	44	358	679	-	596	106	30	42	72		青葉区
80	44	732	796	926	-	143	31	45	65		都筑区
174	125	211	71	68	86	-	365	738	151		戸塚区
143	98	89	23	28	20	461	-	100	27		栄区
67	70	111	51	33	53	757	76	-	265		泉区
54	32	92	88	57	40	130	40	286	-		瀬谷区
移動前の住所地											移動後の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区		総数
△ 36	△ 17	23	△ 89	△ 36	△ 14	△ 117	19	△ 29	△ 21		鶴見区
△ 58	64	△ 26	△ 43	48	35	△ 63	△ 12	△ 2	△ 37		神奈川区
△ 42	39	15	9	23	29	4	22	25	19		西区
△ 274	△ 14	20	△ 30	△ 22	△ 8	△ 2	△ 30	△ 11	△ 20		中区
△ 188	44	23	9	11	△ 13	△ 28	△ 21	△ 61	-		南区
118	64	-	6	4	△ 1	△ 82	△ 54	△ 42	△ 25		港南区
△ 5	4	25	8	32	41	△ 175	△ 34	△ 38	△ 39		保土ヶ谷区
30	21	97	119	△ 16	97	△ 32	21	△ 17	△ 119		旭区
-	34	27	△ 3	18	47	△ 55	△ 76	△ 17	14		磯子区
△ 34	-	△ 12	△ 18	△ 8	△ 8	△ 26	△ 67	13	△ 15		金沢区
△ 27	12	-	△ 172	△ 11	△ 278	△ 31	△ 15	△ 4	△ 4		港北区
3	18	172	-	8	369	17	△ 14	△ 16	△ 9		緑区
△ 18	8	11	△ 8	-	330	△ 38	△ 2	△ 9	△ 15		青葉区
△ 47	8	278	△ 369	△ 330	-	△ 57	△ 11	8	△ 25		都筑区
55	26	31	△ 17	38	57	-	96	19	△ 21		戸塚区
76	67	15	14	2	11	△ 96	-	△ 24	13		栄区
17	△ 13	4	16	9	△ 8	△ 19	24	-	21		泉区
△ 14	15	4	9	15	25	21	△ 13	△ 21	-		瀬谷区

(4) 年齢別、男女別社会移動

・移動が多い20～30歳代

社会移動数を年齢別にみると、市外からの転入では25～29歳が28,911人（転入者の20.5%）と最も多く、次いで20～24歳が24,983人（同17.7%）、30～34歳が21,032人（同14.9%）、35～39歳が13,348人（同9.5%）となっており、20～30歳代で全体の約6割を占めています。

また、市外への転出及び市内移動についてもほぼ同じ傾向で、20～30歳代の社会移動が多くなっています。

平成19年中、24年中及び29年中の年齢別転入超過数をみると、各年ともに20～24歳が最も高く、以降60～64歳まで減少傾向となっています。平成29年中では、15～19歳、20～24歳、及び25～29歳で転入超過となっており、他の年齢区分では転出超過となっています。

男女別では、市外移動、市内移動ともに男性の移動割合が高くなっています。

[表1-7、図1-13、図1-14、図1-15]

表1-7 年齢、男女別社会移動数（平成29年中）

男女、年齢	社会移動数						割合(%)			
	総移動数	市外移動			市内移動	総移動数	市外移動		市内移動	
		転入	転出	転入超過数			転入	転出		
総数	344,970	140,759	134,518	6,241	69,693	100.0	100.0	100.0	100.0	
0～14歳	35,313	13,180	14,362	△ 1,182	7,771	10.2	9.4	10.7	11.2	
15～19歳	10,644	5,455	3,037	2,418	2,152	3.1	3.9	2.3	3.1	
20～24歳	50,077	24,983	18,011	6,972	7,083	14.5	17.7	13.4	10.2	
25～29歳	69,098	28,911	27,821	1,090	12,366	20.0	20.5	20.7	17.7	
30～34歳	52,991	21,032	21,258	△ 226	10,701	15.4	14.9	15.8	15.4	
35～39歳	34,538	13,348	14,029	△ 681	7,161	10.0	9.5	10.4	10.3	
40～44歳	24,488	9,440	9,857	△ 417	5,191	7.1	6.7	7.3	7.4	
45～49歳	18,368	7,136	7,221	△ 85	4,011	5.3	5.1	5.4	5.8	
50～54歳	13,359	5,034	5,346	△ 312	2,979	3.9	3.6	4.0	4.3	
55～59歳	9,247	3,252	3,877	△ 625	2,118	2.7	2.3	2.9	3.0	
60～64歳	6,586	2,232	2,675	△ 443	1,679	1.9	1.6	2.0	2.4	
65歳以上	20,261	6,756	7,024	△ 268	6,481	5.9	4.8	5.2	9.3	
男	184,727	75,655	73,460	2,195	35,612	53.5	53.7	54.6	51.1	
0～14歳	18,013	6,731	7,374	△ 643	3,908	5.2	4.8	5.5	5.6	
15～19歳	5,682	2,948	1,655	1,293	1,079	1.6	2.1	1.2	1.5	
20～24歳	26,566	13,131	10,020	3,111	3,415	7.7	9.3	7.4	4.9	
25～29歳	36,352	15,461	14,793	668	6,098	10.5	11.0	11.0	8.7	
30～34歳	28,132	11,189	11,304	△ 115	5,639	8.2	7.9	8.4	8.1	
35～39歳	18,970	7,326	7,765	△ 439	3,879	5.5	5.2	5.8	5.6	
40～44歳	13,859	5,310	5,720	△ 410	2,829	4.0	3.8	4.3	4.1	
45～49歳	10,816	4,197	4,361	△ 164	2,258	3.1	3.0	3.2	3.2	
50～54歳	8,024	3,078	3,335	△ 257	1,611	2.3	2.2	2.5	2.3	
55～59歳	5,466	2,025	2,303	△ 278	1,138	1.6	1.4	1.7	1.6	
60～64歳	4,009	1,422	1,639	△ 217	948	1.2	1.0	1.2	1.4	
65歳以上	8,838	2,837	3,191	△ 354	2,810	2.6	2.0	2.4	4.0	
女	160,243	65,104	61,058	4,046	34,081	46.5	46.3	45.4	48.9	
0～14歳	17,300	6,449	6,988	△ 539	3,863	5.0	4.6	5.2	5.5	
15～19歳	4,962	2,507	1,382	1,125	1,073	1.4	1.8	1.0	1.5	
20～24歳	23,511	11,852	7,991	3,861	3,668	6.8	8.4	5.9	5.3	
25～29歳	32,746	13,450	13,028	422	6,268	9.5	9.6	9.7	9.0	
30～34歳	24,859	9,843	9,954	△ 111	5,062	7.2	7.0	7.4	7.3	
35～39歳	15,568	6,022	6,264	△ 242	3,282	4.5	4.3	4.7	4.7	
40～44歳	10,629	4,130	4,137	△ 7	2,362	3.1	2.9	3.1	3.4	
45～49歳	7,552	2,939	2,860	79	1,753	2.2	2.1	2.1	2.5	
50～54歳	5,335	1,956	2,011	△ 55	1,368	1.5	1.4	1.5	2.0	
55～59歳	3,781	1,227	1,574	△ 347	980	1.1	0.9	1.2	1.4	
60～64歳	2,577	810	1,036	△ 226	731	0.7	0.6	0.8	1.0	
65歳以上	11,423	3,919	3,833	86	3,671	3.3	2.8	2.8	5.3	

図 1-13 年齢別社会移動数 (平成29年中)

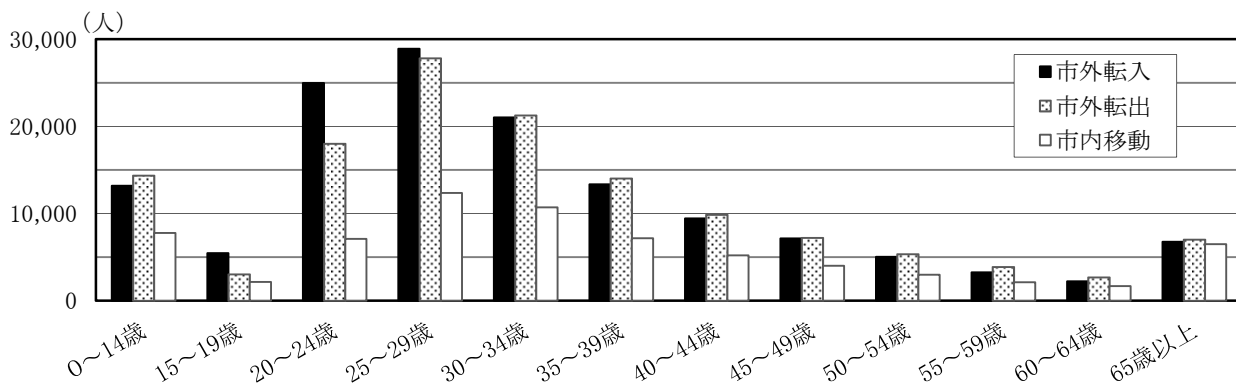


図 1-14 年齢別転入超過数 (平成19年中、24年中、29年中)

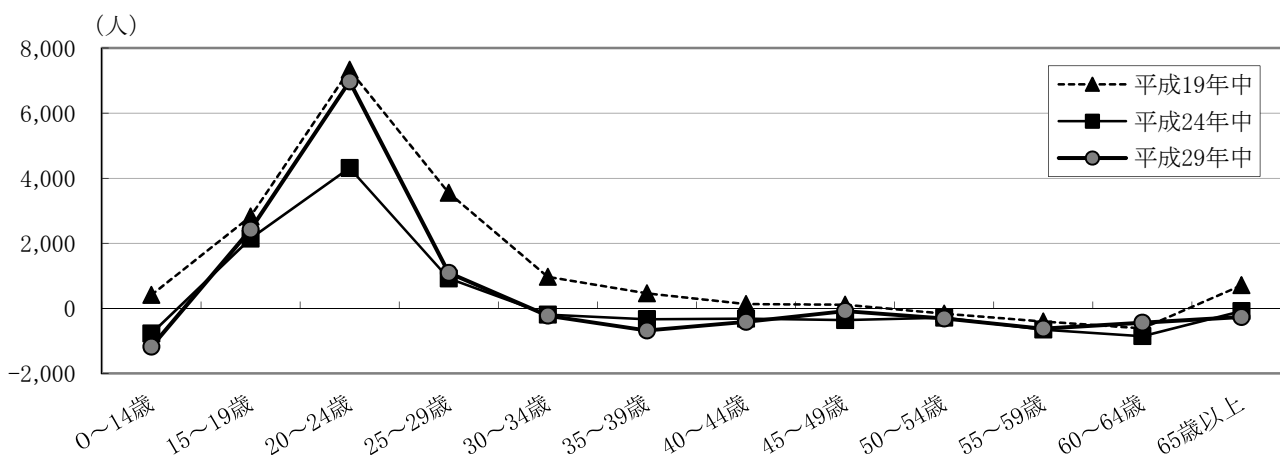
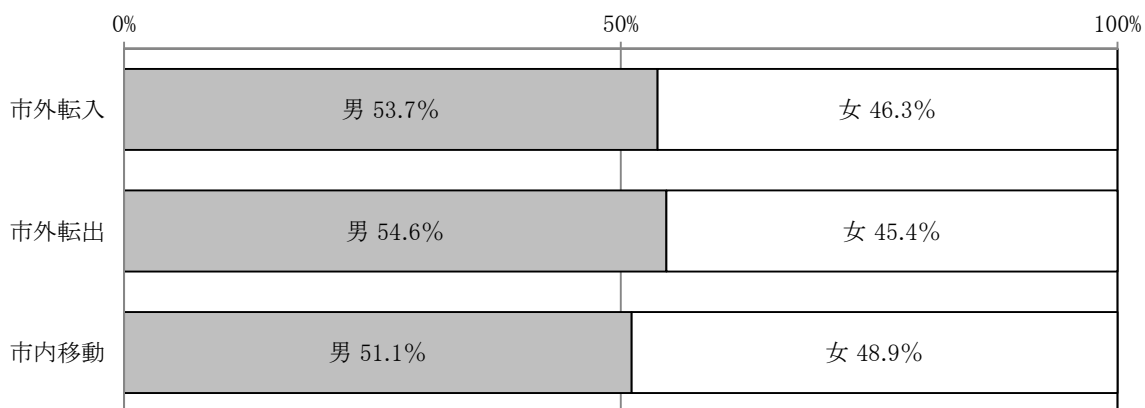


図 1-15 社会移動数の男女別割合 (平成29年中)



3 自然動態

・自然増加数のマイナスが加速

自然動態をみると、出生は28,611人（前年比1,138人減）、死亡は32,684人（同851人増）で、自然増加数はマイナス4,073人（同1,989人減）となっており、自然増加数のマイナス傾向が継続しています。

自然動態の推移を人口1,000人当たりの比率で見ると、出生率は終戦直後の第1次ベビーブーム後の急激な低下から昭和30年代後半になると上昇に転じ、第2次ベビーブームの昭和47年には22.62まで上昇しました。その後の出生率は緩やかな低下傾向にあり、平成13年以降は1桁となり、29年は7.67まで低下しています。

一方、死亡率は昭和50年代から緩やかな上昇傾向にあり、平成29年は前年の8.55より0.21ポイント高い8.76となっています。

平成28年に死亡率が出生率を上回り、29年の自然増加率はマイナス1.09で、昭和22年以降で最低となっています。

【図1-16、表1-8、統計表第3表】

図1-16 出生率、死亡率、自然増加率の推移（昭和22年中～平成29年中）

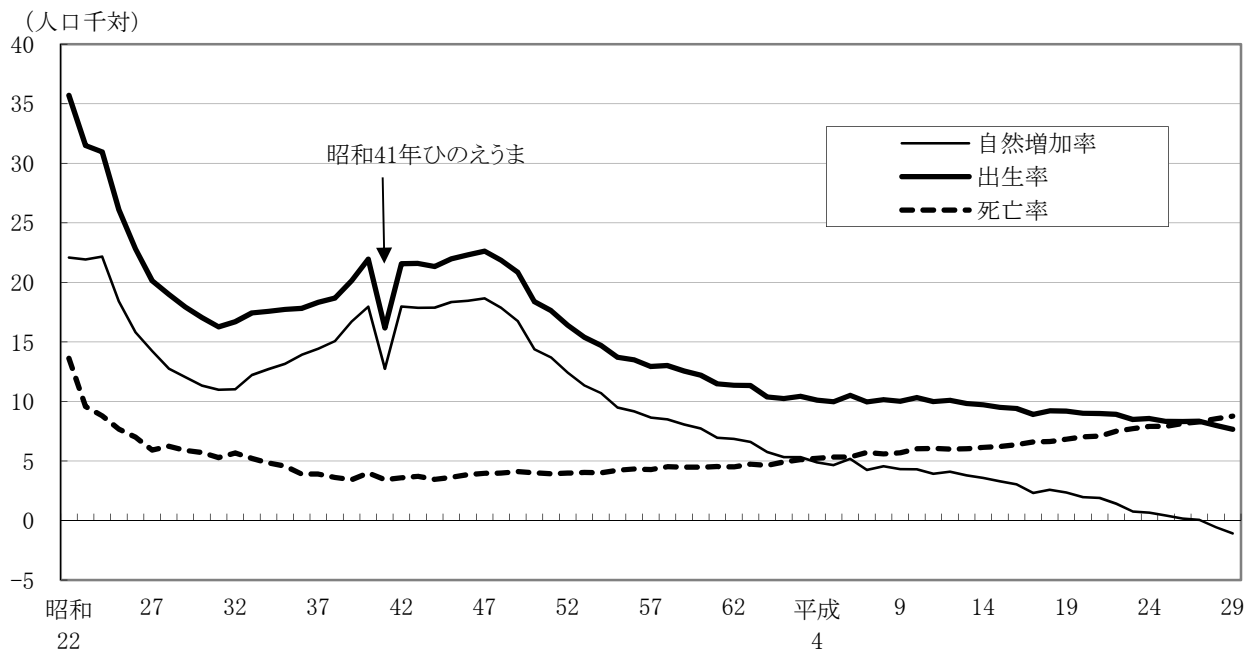


表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～平成29年中）

年中	自然動態			比率（人口千対）		
	自然増加数	出生	死亡	自然増加率	出生率	死亡率
昭和22	17,031	27,529	10,498	22.08	35.69	13.61
23	18,136	26,058	7,922	21.91	31.49	9.57
24	19,417	27,116	7,699	22.16	30.95	8.79
25	16,980	24,063	7,083	18.41	26.09	7.68
26	15,253	22,008	6,755	15.80	22.80	7.00
27	14,414	20,400	5,986	14.23	20.14	5.91
28	13,379	19,922	6,543	12.75	18.99	6.24
29	13,119	19,537	6,418	12.04	17.93	5.89
30	12,706	19,118	6,412	11.33	17.05	5.72
31	12,641	18,717	6,076	10.98	16.26	5.28
32	13,025	19,736	6,711	11.02	16.70	5.68
33	14,936	21,303	6,367	12.22	17.43	5.21
34	16,094	22,220	6,126	12.72	17.56	4.84
35	17,272	23,272	6,000	13.16	17.73	4.57
36	19,306	24,710	5,404	13.91	17.80	3.89

表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～平成29年中）（続）

年 中	自 然 動 態			比 率（人口千対）		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和37	20,973	26,647	5,674	14.42	18.32	3.90
38	23,080	28,617	5,537	15.06	18.68	3.61
39	26,857	32,374	5,517	16.70	20.13	3.43
40	30,444	37,213	6,769	17.96	21.95	3.99
41	23,012	29,197	6,185	12.74	16.16	3.42
42	33,704	40,433	6,729	17.96	21.55	3.59
43	35,124	42,433	7,309	17.86	21.58	3.72
44	36,980	44,114	7,134	17.88	21.33	3.45
45	39,755	47,622	7,867	18.34	21.97	3.63
46	41,749	50,490	8,741	18.45	22.31	3.86
47	44,176	53,562	9,386	18.65	22.62	3.96
48	43,745	53,504	9,759	17.87	21.85	3.99
49	42,072	52,394	10,322	16.74	20.85	4.11
50	37,045	47,353	10,308	14.38	18.38	4.00
51	36,003	46,322	10,319	13.69	17.62	3.92
52	33,151	43,758	10,607	12.42	16.40	3.97
53	30,695	41,625	10,930	11.35	15.39	4.04
54	29,323	40,306	10,983	10.70	14.71	4.01
55	26,294	37,977	11,683	9.49	13.71	4.22
56	25,470	37,493	12,023	9.16	13.49	4.33
57	24,339	36,381	12,042	8.65	12.93	4.28
58	24,264	37,179	12,915	8.49	13.01	4.52
59	23,433	36,466	13,033	8.07	12.56	4.49
60	22,838	36,063	13,225	7.73	12.21	4.48
61	20,865	34,461	13,596	6.95	11.48	4.53
62	20,971	34,773	13,802	6.85	11.36	4.51
63	20,567	35,321	14,754	6.60	11.33	4.73
平成元	18,178	32,774	14,596	5.75	10.37	4.62
2	17,018	32,746	15,728	5.32	10.24	4.92
3	17,161	33,651	16,490	5.32	10.43	5.11
4	15,883	32,896	17,013	4.88	10.10	5.23
5	15,227	32,692	17,465	4.65	9.98	5.33
6	17,060	34,617	17,557	5.18	10.52	5.33
7	14,036	32,899	18,863	4.25	9.96	5.71
8	15,080	33,567	18,487	4.56	10.14	5.59
9	14,350	33,273	18,923	4.32	10.01	5.69
10	14,392	34,547	20,155	4.30	10.33	6.03
11	13,232	33,676	20,444	3.92	9.98	6.06
12	13,932	34,295	20,363	4.10	10.09	5.99
13	13,029	33,722	20,693	3.80	9.82	6.03
14	12,406	33,699	21,293	3.58	9.71	6.14
15	11,523	33,271	21,748	3.29	9.50	6.21
16	10,727	33,238	22,511	3.04	9.41	6.37
17	8,244	31,722	23,478	2.32	8.91	6.60
18	9,246	33,023	23,777	2.58	9.21	6.63
19	8,488	33,122	24,634	2.35	9.18	6.83
20	7,142	32,694	25,552	1.97	9.00	7.04
21	6,922	32,816	25,894	1.89	8.98	7.09
22	5,174	32,747	27,573	1.41	8.92	7.51
23	2,808	31,296	28,488	0.76	8.48	7.72
24	2,460	31,623	29,163	0.67	8.57	7.90
25	1,535	30,753	29,218	0.42	8.32	7.90
26	613	30,780	30,167	0.17	8.31	8.15
27	195	30,928	30,733	0.05	8.33	8.28
28	△ 2,084	29,749	31,833	△ 0.56	7.99	8.55
29	△ 4,073	28,611	32,684	△ 1.09	7.67	8.76

注) 比率に用いた人口については、各年1月1日現在人口である。

4 行政区の人口動態

・社会増加率の伸びが突出した西区

平成29年中の各区の人口動態を社会動態と自然動態に区分してみると、社会増加数がプラスとなったのは神奈川区（1,443人）、西区（1,411人）、鶴見区（1,361人）など12区となっています。

また、自然増加数がプラスとなったのは港北区（969人）、都筑区（524人）、青葉区（354人）など5区となっています。

社会増加率及び自然増加率^(注)で見ると、社会増加率は西区が最も高く、自然増加率は港北区が最も高くなっています。

次に、市外転入・転出者数における移動前・移動後の住所地別にみると、東京圏内の地域では東京都区部が多くなっています。さらに、東京圏内の地域を行政区別にみると、川崎市との移動では鶴見区、港北区、青葉区、横須賀三浦地区との移動では金沢区、県央地区との移動では瀬谷区、旭区、湘南地区との移動では戸塚区などが多くなっています。

東京圏外との移動割合は市全体で3割程度、国外の移動割合は、市全体で1割程度となっています。

[図1-17、表1-9、表1-10、統計表第5表、第14表、第15表]

(注) 社会増加率 = 社会増加数 ÷ 平成29年1月1日現在総人口 × 100

自然増加率 = 自然増加数 ÷ 平成29年1月1日現在総人口 × 100

表1-9 行政区別の人口動態（平成29年中）

行政区	人口増加数	社会動態						自然動態		
		社会増加数	市外移動		市内（区間）移動		その他増減	自然増加数	出生	死亡
			転入	転出	転入	転出				
横浜市	1,988	6,061	140,759	134,518	69,693	69,627	△ 246	△ 4,073	28,611	32,684
鶴見区	1,515	1,361	14,811	12,956	3,391	3,878	△ 7	154	2,561	2,407
神奈川区	1,382	1,443	11,448	9,859	5,750	5,970	74	△ 61	2,009	2,070
西区	1,402	1,411	5,989	4,739	3,675	3,358	△ 156	△ 9	847	856
中区	60	646	8,837	6,853	4,218	5,190	△ 366	△ 586	1,028	1,614
南区	222	1,133	7,362	6,215	5,645	5,500	△ 159	△ 911	1,317	2,228
港南区	△ 563	34	5,225	5,334	4,269	4,156	30	△ 597	1,396	1,993
保土ヶ谷区	△ 106	493	7,009	6,199	4,415	4,686	△ 46	△ 599	1,465	2,064
旭区	△ 761	182	5,566	5,946	4,490	3,947	19	△ 943	1,638	2,581
磯子区	95	478	4,828	4,804	4,276	3,829	7	△ 383	1,302	1,685
金沢区	△ 817	△ 123	6,179	5,732	2,350	2,727	△ 193	△ 694	1,242	1,936
港北区	1,815	846	18,146	16,638	5,414	6,118	42	969	3,446	2,477
緑区	50	35	5,820	6,439	3,613	3,049	90	15	1,455	1,440
青葉区	△ 619	△ 973	13,488	14,868	3,042	2,827	192	354	2,344	1,990
都筑区	△ 874	△ 1,398	7,569	8,342	3,317	4,028	86	524	1,738	1,214
戸塚区	1,020	1,160	8,775	8,450	4,875	4,089	49	△ 140	2,108	2,248
栄区	△ 475	△ 155	3,303	3,641	2,069	1,899	13	△ 320	814	1,134
泉区	△ 706	△ 332	3,475	4,066	2,711	2,485	33	△ 374	1,103	1,477
瀬谷区	△ 652	△ 180	2,929	3,437	2,173	1,891	46	△ 472	798	1,270

図 1-17 行政区別の社会増加率及び自然増加率の分布（平成29年中）

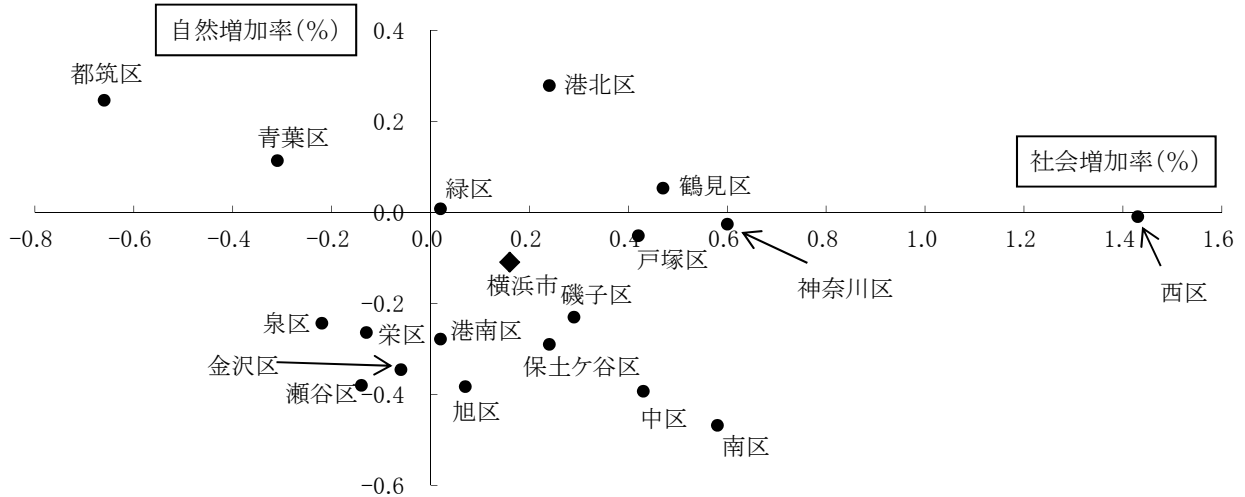


表 1-10 行政区別の市外転入・転出数（平成29年中）

行政区	総数	東京圏内の地域									東京圏外	
		川崎市	相模原市	横須賀三浦地区	県央地区	湘南地区	県内その他	東京都区部	東京都区部以外	埼玉県千葉県	他の ¹⁾ 道府県	国外
横浜市	140,759	13,064	2,572	5,881	4,470	5,849	1,069	22,926	6,697	12,918	46,345	18,968
鶴見区	14,811	2,209	138	231	221	314	64	2,932	604	1,395	4,505	2,198
神奈川区	11,448	1,006	214	392	290	432	95	2,141	554	1,095	4,011	1,218
西区	5,989	407	97	269	178	226	44	1,120	249	497	1,894	1,008
中区	8,837	457	129	262	157	248	53	1,566	294	777	2,430	2,464
南区	7,362	435	118	411	211	322	77	1,098	318	702	2,413	1,257
港南区	5,225	298	70	477	138	286	52	704	198	558	1,950	494
保土ヶ谷区	7,009	448	145	253	293	347	65	1,027	307	699	2,550	875
旭区	5,566	448	171	166	491	342	58	681	253	542	1,832	582
磯子区	4,828	347	77	423	132	240	59	716	192	507	1,486	649
金沢区	6,179	262	68	1,142	114	247	55	639	219	494	2,107	832
港北区	18,146	2,229	287	301	324	446	119	3,875	994	1,672	5,989	1,910
緑区	5,820	501	293	93	234	178	38	806	523	561	1,912	681
青葉区	13,488	1,952	243	104	392	262	57	2,524	843	999	4,184	1,928
都筑区	7,569	848	136	105	154	177	33	970	310	639	3,203	994
戸塚区	8,775	624	109	564	247	811	87	1,141	349	862	2,986	995
栄区	3,303	171	84	475	106	360	51	365	164	309	975	243
泉区	3,475	217	66	141	288	377	32	348	155	369	1,058	424
瀬谷区	2,929	205	127	72	500	234	30	273	171	241	860	216
横浜市	134,518	14,200	3,279	5,505	5,559	7,090	920	27,147	7,953	13,168	37,772	11,925
鶴見区	12,956	2,494	178	288	222	408	64	2,667	559	1,485	3,555	1,036
神奈川区	9,859	968	205	307	231	422	61	2,370	506	1,077	2,923	789
西区	4,739	395	67	213	123	229	29	1,259	213	431	1,317	463
中区	6,853	501	70	295	170	258	42	1,679	265	732	1,750	1,091
南区	6,215	535	146	361	175	320	65	1,272	266	716	1,711	648
港南区	5,334	387	101	391	185	370	44	975	299	520	1,639	423
保土ヶ谷区	6,199	539	102	228	342	338	52	1,288	287	664	1,803	556
旭区	5,946	469	226	168	686	404	48	917	335	579	1,613	501
磯子区	4,804	336	92	393	153	316	47	817	220	516	1,514	400
金沢区	5,732	350	89	934	143	262	51	980	232	499	1,720	472
港北区	16,638	2,097	309	302	317	529	66	4,170	943	1,607	4,838	1,460
緑区	6,439	604	468	118	394	241	23	914	774	613	1,787	503
青葉区	14,868	2,141	432	155	459	434	61	3,373	1,573	1,107	3,807	1,326
都筑区	8,342	1,052	243	149	220	258	53	1,494	545	848	2,732	748
戸塚区	8,450	624	162	446	298	892	79	1,461	396	881	2,433	778
栄区	3,641	233	97	539	130	564	56	497	138	268	898	221
泉区	4,066	253	82	131	460	589	39	618	197	362	983	352
瀬谷区	3,437	222	210	87	851	256	40	396	205	263	749	158

注1) 「他の道府県」には地域不詳を含む。

5 外国人人口の動き

・外国人人口が多い中区

平成29年12月31日現在の外国人人口は91,452人で、総人口の2.4%を占め、前年に比べ4,856人(5.6%)の増加となっています。

行政区別にみると、中区が16,440人で最も多く、鶴見区が12,180人と続いています。

国籍別にみると、中国が37,536人と最も多く、韓国・朝鮮(13,512人)、フィリピン(7,546人)の3か国で全体の6割以上を占めています。また増加率は、ベトナムが17.8%、ネパールが15.6%と高くなっています。

[図1-18、表1-11、表1-12]

図1-18 国籍別外国人人口の割合

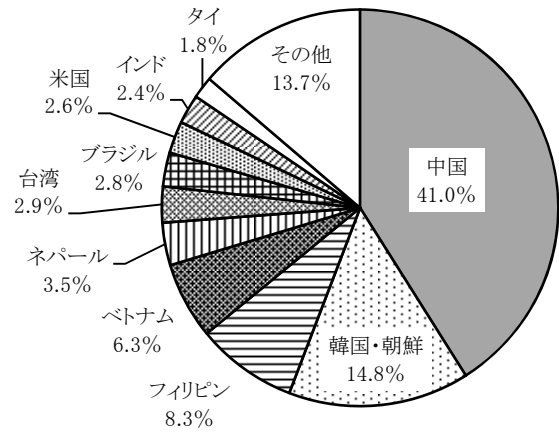


表1-11 行政区別外国人人口(平成27年~29年)

行政区	外国人人口			増加数		増加率(%)		平成29年	
	平成27年	平成28年	平成29年	平成28年中	平成29年中	平成28年中	平成29年中	区別の割合(%)	区別総人口に占める割合(%) ¹⁾
横浜市	81,424	86,596	91,452	5,172	4,856	6.4	5.6	100.0	2.4
鶴見区	10,374	11,246	12,180	872	934	8.4	8.3	13.3	4.2
神奈川区	5,539	6,025	6,586	486	561	8.8	9.3	7.2	2.7
西区	3,800	3,942	4,207	142	265	3.7	6.7	4.6	4.2
中区	15,506	15,978	16,440	472	462	3.0	2.9	18.0	11.0
南区	8,327	9,102	9,680	775	578	9.3	6.4	10.6	5.0
港南区	2,123	2,228	2,340	105	112	4.9	5.0	2.6	1.1
保土ヶ谷区	4,449	4,856	5,081	407	225	9.1	4.6	5.6	2.5
旭区	2,263	2,483	2,671	220	188	9.7	7.6	2.9	1.1
磯子区	3,703	3,984	4,289	281	305	7.6	7.7	4.7	2.6
金沢区	2,279	2,469	2,629	190	160	8.3	6.5	2.9	1.3
港北区	5,591	5,785	6,008	194	223	3.5	3.9	6.6	1.7
緑区	3,035	3,188	3,364	153	176	5.0	5.5	3.7	1.9
青葉区	3,407	3,660	3,921	253	261	7.4	7.1	4.3	1.3
都筑区	2,687	2,962	3,157	275	195	10.2	6.6	3.5	1.5
戸塚区	3,361	3,597	3,752	236	155	7.0	4.3	4.1	1.4
栄区	949	949	961	-	12	-	1.3	1.1	0.8
泉区	2,533	2,535	2,518	2	△ 17	0.1	△ 0.7	2.8	1.6
瀬谷区	1,498	1,607	1,668	109	61	7.3	3.8	1.8	1.4

注1) 平成30年1月1日現在の推計人口に占める割合

表1-12 国籍別外国人人口(平成27年~29年)

国籍	外国人人口			増加数		増加率(%)		平成29年	
	平成27年	平成28年	平成29年	平成28年中	平成29年中	平成28年中	平成29年中	国籍別の割合(%)	総人口に占める割合(%) ¹⁾
総数	81,424	86,596	91,452	5,172	4,856	6.4	5.6	100.0	2.4
中国	33,621	35,590	37,536	1,969	1,946	5.9	5.5	41.0	1.0
韓国・朝鮮	13,671	13,491	13,512	△ 180	21	△ 1.3	0.2	14.8	0.4
フィリピン	6,884	7,189	7,546	305	357	4.4	5.0	8.3	0.2
ベトナム	3,714	4,853	5,718	1,139	865	30.7	17.8	6.3	0.2
ネパール	2,082	2,756	3,185	674	429	32.4	15.6	3.5	0.1
台湾	2,404	2,540	2,677	136	137	5.7	5.4	2.9	0.1
ブラジル	2,291	2,463	2,531	172	68	7.5	2.8	2.8	0.1
米国	2,236	2,277	2,385	41	108	1.8	4.7	2.6	0.1
インド	1,960	2,018	2,175	58	157	3.0	7.8	2.4	0.1
タイ	1,504	1,559	1,622	55	63	3.7	4.0	1.8	0.0
その他	11,057	11,860	12,565	803	705	7.3	5.9	13.7	0.3

注1) 平成30年1月1日現在の推計人口に占める割合

6 大都市の人口動態

・横浜市の社会増加率は第11位、自然増加率は第10位

21大都市（政令指定都市及び東京都区部）の平成29年中の人口動態をみると、人口増加率は東京都区部が1.00%と最も高く、次いで川崎市（0.92%）、福岡市（0.91%）となっており、横浜市（0.05%）は第14位となっています。また、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市及び北九州市の7市では人口が減少しています。

横浜市について、社会増加率と自然増加率をみると、社会増加率が0.16%、自然増加率がマイナス0.11%で、それぞれ第11位、第10位となっています。

大都市について、社会増加数と自然増加数をみると、ともにプラスとなったのがさいたま市、東京都区部、川崎市及び福岡市の4市で、ともにマイナスとなったのは新潟市、堺市及び北九州市の3市です。他の14都市は社会増加数がプラス、自然増加数がマイナスとなっています。

[表1-13、表1-14]

表1-13 大都市の人口動態（平成29年中）

都 市 名	平 成 29 年 1月1日現在 人 口	人 口 増 加 数	平 成 29 年 中 の 人 口 動 態							平 成 30 年 1月1日現在 人 口
			社 会 動 態			自 然 動 態				
			社会 増加数	市 外 移 動	その他 の増減	自然 増加数	出 生	死 亡		
札幌市	1,958,772	4,854	9,720	68,340	58,531	△ 89	△ 4,866	13,971	18,837	1,963,626
仙台市	1,085,063	2,028	2,124	68,443	66,070	△ 249	△ 96	8,729	8,825	1,087,091
さいたま市	1,276,926	10,637	10,420	63,082	52,662	-	217	10,741	10,524	1,287,563
千葉市	973,309	2,226	4,094	41,892	37,716	△ 82	△ 1,868	6,829	8,697	975,535
東京都区部	9,385,465	93,633	91,229	345,740	290,376	35,865	2,404	81,730	79,326	9,479,098
川崎市	1,491,577	13,780	10,786	89,851	77,981	△ 1,084	2,994	14,136	11,142	1,505,357
横浜市	3,731,096	1,988	6,061	140,759	134,518	△ 180	△ 4,073	28,611	32,684	3,733,084
相模原市	721,477	1,211	2,180	29,835	27,655	-	△ 969	5,130	6,099	722,688
新潟市	807,136	△ 3,334	△ 470	30,197	30,667	-	△ 2,864	5,752	8,616	803,802
静岡市	701,289	△ 2,754	346	19,365	18,877	△ 142	△ 3,100	4,945	8,045	698,535
浜松市	796,808	△ 880	837	22,381	21,544	-	△ 1,717	6,433	8,150	795,928
名古屋市	2,307,307	8,740	10,887	103,299	91,562	△ 850	△ 2,147	19,770	21,917	2,316,047
京都市	1,474,344	△ 2,622	1,450	53,364	51,173	△ 741	△ 4,072	10,679	14,751	1,471,722
大阪市	2,703,453	11,365	18,711	193,363	171,394	△ 3,258	△ 7,346	22,046	29,392	2,714,818
堺市	836,952	△ 3,408	△ 1,485	24,589	25,702	△ 372	△ 1,923	6,459	8,382	833,544
神戸市	1,535,161	△ 3,470	640	51,565	49,746	△ 1,179	△ 4,110	11,565	15,675	1,531,691
岡山市	721,079	529	880	26,533	24,845	△ 808	△ 351	6,244	6,595	721,608
広島市	1,197,262	1,470	1,787	42,524	40,538	△ 199	△ 317	10,276	10,593	1,198,732
北九州市	955,482	△ 5,571	△ 1,709	44,046	45,432	△ 323	△ 3,862	7,427	11,289	949,911
福岡市	1,556,369	14,116	11,610	83,802	70,751	△ 1,441	2,506	14,683	12,177	1,570,485
熊本市	739,813	469	696	39,566	39,520	650	△ 227	6,754	6,981	740,282

注1) 横浜市以外の都市の数値については、原則、各市の公表数値による。

注2) 社会動態については、各市で取扱いが異なる場合がある。

表1-14 大都市の人口増加率と順位（平成29年中）

	人口増加率	人口増加率順位	社会増加率	社会増加率順位	自然増加率	自然増加率順位
札幌市	0.25	7	0.50	6	△ 0.25	15
仙台市	0.19	9	0.20	10	△ 0.01	5
さいたま市	0.83	4	0.82	2	0.02	4
千葉市	0.23	8	0.42	8	△ 0.19	12
東京都区部	1.00	1	0.97	1	0.03	3
川崎市	0.92	2	0.72	4	0.20	1
横浜市	0.05	14	0.16	11	△ 0.11	10
相模原市	0.17	10	0.30	9	△ 0.13	11
新潟市	△ 0.41	20	△ 0.06	19	△ 0.35	19
静岡市	△ 0.39	18	0.05	17	△ 0.44	21
浜松市	△ 0.11	15	0.11	14	△ 0.22	13
名古屋市	0.38	6	0.47	7	△ 0.09	9
京都市	△ 0.18	16	0.10	15	△ 0.28	18
大阪市	0.42	5	0.69	5	△ 0.27	17
堺市	△ 0.41	19	△ 0.18	20	△ 0.23	14
神戸市	△ 0.23	17	0.04	18	△ 0.27	16
岡山市	0.07	12	0.12	13	△ 0.05	8
広島市	0.12	11	0.15	12	△ 0.03	6
北九州市	△ 0.58	21	△ 0.18	21	△ 0.40	20
福岡市	0.91	3	0.75	3	0.16	2
熊本市	0.06	13	0.09	16	△ 0.03	7